

吉野川市教育委員会会議録

招集年月日	令和8年7月22日
招集の場所	吉野川市役所東館3階 会議室
開閉会日時	開会 令和8年7月29日 午前10時00分 閉会 令和8年7月29日 午前10時分
出席委員	教 育 長 木屋村 雅 信 委 員 栗 洲 直 美 委 員 貞 野 雅 己 委 員 武 知 李 香 委 員 熊 代 雄 一 郎 委 員 山 口 奈 美
出席職員	副 教 育 長 植 田 千 恵 美 教 育 次 長 尾 西 稔 生 教育総務課長 重 清 博 文 学校給食センター所長 森 永 直 美 施設整備室長 深 見 善 広 岡 本 潔

報告事項

- (1) 区域外就学について
- (2) 鴨島東中学校及び鴨島第一中学校閉校式並びに鴨島中学校開校式の日程について
- (3) 鴨島中学校のグランドデザインについて

教育長報告

その他

- (1) 第5回吉野川市鴨島地区中学校統合準備委員会について

会議の経過

木屋村教育長	ただいまから、6月の吉野川市定例教育委員会を開会いたします。 教育長及び委員の過半数が出席しており定足数に達しています。 本日の会議録署名委員に、栗洲委員、貞野委員を指名。
木屋村教育長	報告事項(1)につきましては、公にすることが適当でない案件であるため、会議規則第6条第2項の規定により、非公開とさせていただきます。 (異議なし) 承認いただきましたので、非公開とします。 ----- 【非公開】 -----
木屋村教育長	続いて、報告事項(2)「鴨島東中学校及び鴨島第一中学校閉校式並びに鴨島中学校開校式の日程について」について事務局より説明をお願いします。
重清教育総務課長	資料3ページをご覧ください。鴨島東中学校及び鴨島第一中学校の閉校式並びに鴨島中学校開校式の日程について、去る7月23日に開催した鴨島地区中学校統合準備委員会において、資料のように決定いたしました。 閉校式については、鴨島東中学校が令和9年3月20日(土)午前9時から、鴨島第一中学校が同日午前10時30分から、また、鴨島中学校の開校式については、令和9年4月8日(木)午前9時から、令和9年度始業式の前に行うこととなりましたのでご報告させていただきます。 委員の皆様には、改めてご案内いたしますのでよろしくお願いいたします。
木屋村教育長	ただいまの件について、ご質問・ご意見等ございませんか。 それでは、報告事項(3)「鴨島中学校のグランドデザイン」について 私の方から説明をいた

します。

お手元の資料、4ページをお開きください。

新生・鴨島中学校における「教育の骨格となるグランドデザイン」が完成し、先週23日の第5回鴨島地区中学校統合準備委員会にて承認を得ましたので、委員の皆様にご報告いたします。

このグランドデザインは、鴨島第一中及び鴨島東中の両校長先生のご尽力を得ながら、両校が大切にしてきたこれまでの歩みをしっかりと踏まえ、来年4月に開校する鴨島中学校への願いと決意を込めたものでございます。

加えて、今、大きな教育改革の時節を迎えております。と申しますのは、国が示す次期「学習指導要領」(中学校は令和13年度から本格実施となるもの)ですが、現在中央教育審議会でまとまりつつあり、今年度中には公表されることとなります。今、お示ししているグランドデザインは、こうした国による新たな教育改革の方向性も踏まえ、完成させたものでもあります。本日は、この一枚に込めた理念や思いを中心に、説明をいたします。

最初に3つの校訓についてですが、学校づくりにおいて最も大切にしたいものが、この「誠実」であります。

「誠実」とは、真心をもって人や物事と接し、相手を思いやりことはもとより、自分や他人に対しても偽りが無く、何事にも真摯に向き合う姿勢・態度のことです。時代と共に社会は大きく変わろうとも、この「誠実」な生き方こそ、人として生きていく上で「拠り所」となるものであります。「誠実」という理念は、何よりも大切にしたい鴨中教育の土台(基盤)となるものであります。

次に「共創」です。子ども達には、これからの社会を生きていく中で、多様な仲間と学び合い、認め合い、新しい価値を創造する力が求められています。子ども達は、多様な人々との出会いを通して、持続可能な社会の創り手(担い手ではなく)創り手とならなくてはなりません。「知識習得型」の教育から「未来創造型」の教育への転換点にあたり、「共創」の精神は、21世紀のキーワードである「自立と共生」、そして「生きる力」を育む原動力となるものであります。

最後に、「挑戦」です。子ども達は、いずれは親から自立して、自らの力で生きていかなければなりません。また、夢や志は、挑戦しなければ実現できません。子ども達には、学校生活において失敗を恐れず、一歩踏み出す勇気とチャレンジ精神をもって、強く、たくましく人生を切り拓く力を育み、ウェルビーイングな人生を歩んでいけるように！という思いも込めました。

この「挑戦」という校訓は、今後国が示す、新たな教育の方向性のキーワードになるものと思われれます。

以上、「誠実」を基盤に、「共創」の精神で、「挑戦」する営みは、鴨中教育の柱となることはもとより、現在、統合準備委員会にて取り組んでいる過程そのものと、正に重なるものであると感じております。

次に、この校訓を日々の学校生活の中で支える言葉(モットー)として、「継続は力なり」を掲げたいと思います。子育てにも、教育にも近道はありません。なかなか理想通りに、思い通りにいきません。でも、毎日の学び、毎日の努力、毎日の積み重ねこそが、確かな未来を切り拓く大きな原動力となっていきます。誠実に、一生懸命、そして地道な努力の積み重ねこそが、いつの日か必ずや大きな力となり、「がんばってきて良かった！」そう思える日が来ることを信じて、このモットーを掲げました。この「継続は力なり」をすべての校訓につなげるとすれば、「誠実に取り組み続ける、仲間と学び続ける、挑戦し続ける生き方を！」ということになるかと思ひます。

次の学校教育目標とは、中学3年間(義務教育)のゴールとして、どんな生徒を育てたいかという生徒の姿を示したものです。今回、四つの願いを込めています。

一つ目は、夢や志を抱くこと。

二つ目は、郷土(ふるさと鴨島)に誇りをもつこと。

三つ目は、多様な仲間と共に学び合い、互いに高め合うこと。

最後四つ目は、確かな未来を切り拓くこと。

この四つを通じて、「心豊かな生徒の育成」をめざします。

ブーカの時代と言われる先行き不透明で、変化の激しい社会だからこそ、答えを教えてください人間ではなく自ら考え、仲間と協働し、共に社会の創り手となりうる生徒を育てたい。そうした思いを、この教育目標に込めました。

続いて、本校がめざす学校像・生徒像・教師像についてご説明いたします。

ここから以降は、今申し上げました、校訓・モットー・学校教育目標に込めた思いをそれぞれに落とし込んでいくことになります。

学校づくりで大切なのは、「どのような教育を行うか」だけではなく、「どのような人を育て、どのような先生方と、どのような学校を創るか」という「人づくり」だと考えています。このことは、両校がこれまで大事にしてきた理念でもあります。

めざす学校像、めざす生徒像、めざす教師像です。この三つの姿が重なり合って、鴨島中学

校らしい教育環境が実現できるものと確信しています。

詳細につきましては、時間の関係上、資料でご確認願えたらと思います。

次に、今回最も大切にしたい言葉が、このコンセプトです。「生徒が主役の学校」そして、みんなが輝き、みんなで創る、みんなの学校。誰一人取り残すことなく、生徒一人一人が主役の、みんなで創り上げる学校を目指します。

次に、キャッチフレーズは、学校生活そのものを表しています。

「Let's Shine Together!!」思いつき輝こう。一人一人が主役の鴨島中学校。そして、みんなが輝く学校。そんな毎日をつくっていきたいと思っています。ところで、委員の皆さんは生徒が輝いているとき、とはどんな瞬間、場面だと思われますか？ここでは一例としていくつか挙げてみます。

生徒が本当に輝く瞬間とは、テストで100点満点を取った時、これももちろん輝いている時ではありますが、それだけではないと思っています。

例えば、「成長を実感できたとき」、「ありがとう」を伝えられた、あるいは伝えたとき、「部活や勉強などで、できなかったことが出来るようになったとき、あるいは分からなかったことが分かるようになったとき」、「体育祭や文化祭などで、みんなと同じ目標に向かっているとき、あるいはみんなでも何かを成し遂げたとき」、「人の役にたった時」、「自分が認められた時」、「あきらめずにがんばっている時」、「もっとやってみたいと思ったとき」あるいは「ひたむきに一生懸命になっている時」など、他にもたくさんの瞬間があるかと思います。

こうした生徒が輝くとき・その瞬間こそが、教育の原点だと思っています。日常生活におけるこうした瞬間を見逃さず、認め、励まし、日々大切に積み重ねていくことで、自己肯定感や自己有用感といった大切な感情を育み、「オンリーワンとしての鴨島中学校」の日常を築いていきたいと思っています。

次に、これまで申し上げた理念や思いを、具体的な教育活動に落とし込んでいくために、六つの具体的ビジョンを掲げました。ここにつきましても、時間の関係上、ご確認願えたらと思います。

最後になります。

学校は、グランドデザインが完成すればできるというものではありません。学校を創るのは、子どもを思う「人」の力であります。

GIGAスクール構想、AIをはじめとするICT革命の時代ではあっても、教育において不易なもの、変わってはならないもの、それは「教育は人なり」であります。

令和9年4月の開校は、学校づくりのゴールではありません。生徒が、毎日意欲・やりがいをもって登校し、充実した気持ちで明日も学校が楽しみだ！という思いで下校する、そんな学校、いわゆる「希望の登校、満足の下校」が、一人でも多くの生徒に実現出来たとき。

保護者の皆様が、「この学校に通わせてよかった」と思ってくれたとき。地域の皆様が、「鴨島中学校は地域の誇りだ」そう感じていただけたとき、初めて、このグランドデザインは完成すると考えています。

一中も、東中も、地域の皆様に支えられて教育活動を行ってきた学校であり、地域の人々から学び、教えられ、様々なことを身に付けてきました。

閉校(鴨島東中学校・鴨島第一中学校の名が無くなる)にあたり、寂しさも込み上げてまいりますが、生徒が新しい教育環境のもと、切磋琢磨し、夢に胸膨らませ、たくましく成長するための新たな出発と考えることで、希望や喜びも大きく膨らんまいります。

来年4月から始まる鴨島中学校の新たな歴史・伝統そして学校文化を、学校づくりの主役となる生徒はもとより、保護者・地域の皆様とともに「チーム鴨島町」で築いていきたいと考えております。新生・鴨島中学校グランドデザインの説明は、以上です。

ただいまの件について、ご質問・ご意見等ございませんか。

木屋村教育長

それでは、教育長報告にうつります。

7月につきまして、主な内容をご報告いたします。資料5ページをお開きください。

今回は、真夏の運動・スポーツ活動に関してです。小学校では、21日(火)鴨島小プールにて、今年も小学校水泳能力検定会が行われました。熱中症対策にも万全を期し、子供たちも日頃の水泳能力や記録の向上に努めた成果を、この本番で、十分発揮することができました。特に、女子50m自由形では大会タイ記録が、男子50m平泳ぎでは大会新記録が飛び出すなど、大いに盛り上がった検定会となりました。

次に、中学校では、真夏最大のイベントである県総体が7月に入って開催され、ブロック大会を勝ち抜いたチームが、晴れの舞台上、熱戦を繰り広げました。特に、3年生は総決算、最後の大会となりました。全力を出し切ったものの、敗れて、悔し涙を流す生徒の姿も多々見受けられました。

それを、一場面で申し上げますと、サッカーの山川中学校、四国総体出場をかけた準決勝、対阿波中・市場中合同チームに、0対0のまま、ほぼ互角の戦いでありましたが、後半残り1分、相手にシュートを決められそのままホイッスルが響き渡り、無念の敗退となりました。

あと少しでPK勝負という思いもあったのか、うなだれ、立ち上がれない生徒も多々ありました。ただ、「今日まで、ようがんばった。2年・1年は、次に生かして。」もうこの思いだけでありました。

真夏の晴れの舞台、大声を出し、ひたむきに、懸命に、ボールを追う、正に汗だくの生徒たちでしたが、その輝く瞬間は、何ものに替えがたい財産だと思いました。出場した本市の全ての生徒に、大きな拍手を送りたいと思います。

8月の主な予定として、3日(月)に市民プラザで行われる一中と東中の2年生による「合同レクリエーション大会」が、とても楽しみです。他は、この表に記載のとおりであります。

ただいまの件について、ご質問等ございませんか。

続きまして、その他(1)「第5回吉野川市鴨島地区中学校統合準備委員会」について、事務局より説明をお願いします。

重静教育総務課長

それでは、去る7月23日(木)午後7時から開催いたしました「第5回鴨島地区中学校統合準備委員会」の内容について、ご報告いたします。

資料6ページからの当日会議資料をご覧ください。

今回は、3月に開催いたしました第4回会議以降に、各部会において協議した項目の報告・承認となっております。

それぞれ具体を申し上げますと、まず、資料7ページ、総務部会所管の事項について、新しい校歌が9月に完成予定のため、10月にお披露目、その後、生徒の練習期間を設ける。

制服については、菅公学生服から提供された仕様書を他のメーカーにも共有し、新入生の購入時期に間に合うよう準備を進めている。

また、先ほどの報告事項においてご説明いたしました鴨島東中学校及び鴨島第一中学校の閉校式並びに鴨島中学校の開校式の日程を決定したほか、鴨島東中学校の跡地利用について、体育館及びテニスコートは、引き続き鴨島中学校の施設として部活動や学校行事に使用し、学校が使用しない時間帯においては市民への貸出も行う。校舎やグラウンドについては、地域の皆様のご意見を伺うため、本年度中に跡地利用に関するアンケートを実施することを確認しました。

次に、資料9ページ、学校運営部会所管の事項について、先ほど教育長から報告がありましたが、鴨島中学校の校訓を「誠実 共創 挑戦」に決定いたしました。現在、この校訓を含む鴨島中学校のグランドデザインを基に、新たな教育方針、教育活動案等の作成に取りかかっているところです。

また、統合に向けた生徒同士の交流活動について、8月3日(月)に日本フネン市民プラザにおいて、合同レクリエーション大会を開催するほか、今後の交流活動として、オブスタクルスポーツ、校歌制作者の井筒昭雄氏の講演会、校歌練習等を計画している旨報告しました。

さらに、部活動について、運動部は、総合体育大会終了後、新チーム発足時から統一チームとして活動することとしておりましたが、鴨島東中学校の男子バスケットボール部、女子ソフトテニス部及サッカー部に所属する6人の生徒が拠点校方式でそれぞれ鴨島第一中学校の部活動に参加しております。

次に、資料12ページ、通学部会所管のスクールバスについて、6月に実施した最終の利用意向調査の結果、統合時の令和9年度のスクールバス利用者は、北ルートが5人、南ルートが20人の合計25人となり、北ルートをワゴン車、南ルートをマイクロバスで運行することなどを決定いたしました。

なお、スクールバスの運行に係る関連予算を9月議会へ提案する予定としており、車両の手配及び運行業者の選考を終えた後、令和9年4月からの運行に先立ち、3月に試験運行を行う予定としております。

最後に、資料14ページ、PTA部会です。新しいPTA組織について、部会でまとめた会則や運営方法などを報告し、資料記載の内容で新たなPTA組織を立ち上げることを決定いたしました。

以上、第5回統合準備委員会の報告となりますが、事務局における統合準備といたしましては、資料8ページのToDoリストに掲げているスケジュールを基本として、校歌の制作、スクールバスの準備のほか、両中学校の閉校記念誌の制作等や鴨島第一中学校校舎(北教室棟)の改修工事及び屋内運動場の空調整備工事についても、進捗状況を報告いたしました。

木屋村教育長

ただいまの件について、ご質問・ご意見等ございませんか。

その他ないようですので、次に「８月定例教育委員会の開催日時について」事務局よりお願いします。

重清教育総務課長

今回の定例会ですが、事務局の案といたしまして、８月２７日（木）午前１０時開催とさせていただきますと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

木屋村教育長

それでは確認いたします。次回７月の定例教育委員会は、８月２７日（木）午前１０時から開催ということでよろしく願いいたします。

それでは以上をもちまして、本日の定例会を閉じることいたします。お疲れ様でした。お世話になりました。